

## 令和2年度 事業概要

事項1	概 要	実 績 報 告
<b>法 人</b>		
1	理事会・評議員会の開催状況	<p>—</p> <p><b>&lt;理事会&gt;</b></p> <p>第1回 令和2年5月26日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 (学) 玉田学園役員・評議員の選任について</li> <li>2 令和元年度(学) 玉田学園事業報告について</li> <li>3 令和元年度(学) 玉田学園決算について</li> <li>4 令和2年度(学) 玉田学園補正予算(案)について</li> <li>5 神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部修学支援奨学金(新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時対応)について</li> <li>6 新型コロナウイルス感染症に伴う学園の対応状況等について(報告)</li> <li>7 新8号館建築に係る進捗状況等について(報告)</li> </ol> <p>第2回 令和2年10月30日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和2年度(学) 玉田学園事業計画に係る中間報告について</li> <li>2 令和2年度(学) 玉田学園中間決算について</li> <li>3 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科の四大化について</li> <li>4 神戸常盤大学保健科学部看護学科の入学(収容)定員変更について</li> <li>5 開発許可申請(工事完了)に伴う神戸市への土地割譲について(報告)</li> <li>6 神戸常盤大学附属ときわ幼稚園開園50周年記念事業について(報告)</li> <li>7 新型コロナウイルス感染症に伴う学園の対応状況等について(報告)</li> <li>8 土砂災害特別警戒杭域(レッドゾーン)への対応等について(報告)</li> <li>9 令和3年度神戸常盤大学機関別認証評価受審に係る準備等について(報告)</li> </ol> <p>第3回 令和3年2月9日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 神戸常盤大学の学則の変更(案)について</li> <li>2 (学) 玉田学園施設設備の充実に係る事業計画(案)について</li> <li>3 私立学校情報通信ネットワーク環境施設整備計画について</li> <li>4 神戸常盤女子高等学校の学則の変更(案)について</li> <li>5 役員賠償責任保険制度について</li> <li>6 令和2年度神戸常盤大学短期大学部認証評価順に係る機関別評価案の内示について(報告)</li> <li>7 コロナ禍のける学園の対応状況等について(報告)</li> <li>8 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科の四大化に向けた進捗状況等について(報告)</li> </ol> <p>第4回 令和3年3月26日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 (学) 玉田学園役員・評議員の選任について</li> <li>2 令和3年度(学) 玉田学園事業計画(案)について</li> <li>3 令和3年度(学) 玉田学園予算(案)について</li> <li>4 神戸常盤大学ガバナンス・コードの制定(案)について</li> <li>5 登録衛生検査所「神戸常盤大学医科学研究所(PCR検査センター)(仮称)」の設置について</li> <li>6 神戸常盤大学すこラボ(健康生活研究所)の設置について(報告)</li> <li>7 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科の四大化に向けた進捗状況等について(報告)</li> </ol> <p><b>&lt;評議員会&gt;</b></p> <p>第1回 令和2年5月26日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 (学) 玉田学園役員・評議員の選任について</li> <li>2 令和元年度(学) 玉田学園事業報告について</li> <li>3 令和元年度(学) 玉田学園決算について</li> <li>4 令和2年度(学) 玉田学園補正予算(案)について</li> <li>5 神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部修学支援奨学金(新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時対応)について</li> <li>6 新型コロナウイルス感染症に伴う学園の対応状況等について(報告)</li> <li>7 新8号館建築に係る進捗状況等について(報告)</li> </ol> <p>第2回 令和2年10月30日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和2年度(学) 玉田学園事業計画に係る中間報告について</li> <li>2 令和2年度(学) 玉田学園中間決算について</li> <li>3 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科の四大化について</li> <li>4 神戸常盤大学保健科学部看護学科の入学(収容)定員変更について</li> <li>5 開発許可申請(工事完了)に伴う神戸市への土地割譲について(報告)</li> <li>6 神戸常盤大学附属ときわ幼稚園開園50周年記念事業について(報告)</li> <li>7 新型コロナウイルス感染症に伴う学園の対応状況等について(報告)</li> <li>8 土砂災害特別警戒杭域(レッドゾーン)への対応等について(報告)</li> <li>9 令和3年度神戸常盤大学機関別認証評価受審に係る準備等について(報告)</li> </ol> <p>第3回 令和3年2月9日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 神戸常盤大学の学則の変更(案)について</li> <li>2 (学) 玉田学園施設設備の充実に係る事業計画(案)について</li> <li>3 私立学校情報通信ネットワーク環境施設整備計画について</li> <li>4 神戸常盤女子高等学校の学則の変更(案)について</li> <li>5 役員賠償責任保険制度について</li> <li>6 令和2年度神戸常盤大学短期大学部認証評価順に係る機関別評価案の内示について(報告)</li> <li>7 コロナ禍のける学園の対応状況等について(報告)</li> <li>8 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科の四大化に向けた進捗状況等について(報告)</li> </ol>

1	理事会・評議員会の開催状況		<p>第4回 令和3年3月26日</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(学) 玉田学園役員・評議員の選任について</li> <li>令和3年度(学) 玉田学園事業計画(案)について</li> <li>令和3年度(学) 玉田学園予算(案)について</li> <li>神戸常盤大学ガバナンス・コードの制定(案)について</li> <li>登録衛生検査所「神戸常盤大学医科学研究所(PCR検査センター)(仮称)」の設置について</li> <li>神戸常盤大学すこラボ(健康生活研究所)の設置について(報告)</li> <li>神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科の四大化に向けた進捗状況等について(報告)</li> </ol>
2	中期事業計画	<p><b>【新規】学園中期実行計画の策定</b> 学園のさらなる一体化を目標とし、中期実行計画を策定し遂行していく。</p> <p><b>【新規】神戸常盤大学附属ときわ幼稚園開設50周年記念事業の実施(下記幼稚園「7 ときわ幼稚園創立50周年記念事業の実施」とリンク)</b> 学園創立110周年記念事業の一環。開設50周年を迎えた神戸常盤大学附属ときわ幼稚園にて、記念事業を実施する。</p> <p><b>【新規】新8号館竣工並びに保健科学部診療放射線学科開設に係る記念事業の実施</b> 新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、新8号館の竣工、並びに診療放射線学科の4月開設に伴い、記念事業を計画する。</p> <p><b>【新規】福島へのスタディツアー(下記法人「3 地域貢献」とリンク)</b> 福島県双葉町に2020年7月オープン予定の「東日本大震災・原子力災害伝承館」訪問と住民交流を中心としたスタディツアー(2泊3日)を診療放射線学科学生(教職員含め30名程度を想定)が参加し、実施する。</p> <p><b>【継続】短期大学部口腔保健学科の四大化を含む今後の在り方の検討</b> 社会情勢、及び近隣養成校の状況等を踏まえ、設置届出の範囲内において口腔保健学科の四大化に向けた検討を進めていく。</p> <p><b>【継続】学園一体化の更なる推進</b> 理事長を議長とした学園一体化推進協議会を設置。学園の更なる一体化を目指し、協議を進めていく。</p> <p><b>【継続】耐震補強工事等(耐震診断含む)</b> ・神戸常盤女子高等学校 予定なし ・神戸常盤大学 予定なし <b>※学生寮については廃止のため耐震補強工事は実施しない。</b> ・神戸常盤大学附属ときわ幼稚園 令和2年度以降に耐震補強工事を予定</p> <p><b>【継続】ネットワークの充実・再整備(大学)</b> 基幹サーバー及びネットワーク機器のリプレイス、PC教室内PCリプレイス、教員PCリプレイス、職員PCリプレイス、学内Wi-Fi整備(拡充)など教育研究環境の充実、並びに学生サービスの向上を図るべく、令和2年度以降も順次整備・拡張していく予定。</p> <p><b>【継続】認定こども園(幼保連携型)開設に向けた検討</b></p>	<p>学園の中期実行計画を策定し、本学Webサイトにて公表。</p> <p>コロナ禍の影響により記念式典は中止。代わりに、記念品等を関係者に送付・手渡し済。その他、詳細については幼稚園「7 ときわ幼稚園創立50周年記念事業の実施」に記載。</p> <p>7月末に新8号館が竣工され、予定であれば9月頃に記念式典・パーティーを開催する予定であったが、コロナ禍の影響により記念品並びに竣工リーフレットを関係者に持参・送付。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。</p> <p>(大学・短大部「6 口腔保健学科の四大化に向けた検討」とリンク) 昨年8月より口腔保健学科四大開設準備委員会を設置し、2022年4月開設に向けて鋭意準備中。 <b>【これまでの経過及び今後の予定】</b> 2020年11月24日 事前相談(※1/22 「届出」による設置が可能) 2021年3月24日 収容定員の総数の増加に係る学則変更認可申請書類 提出済(Web経由) 2021年4月27日 設置届出書類 提出済(Web経由) 2021年5月末 指定申請書類 提出予定(兵庫県進達(メール提出)にて) 2022年4月 保健科学部口腔保健学科 開設予定</p> <p>未開催。</p> <p>未実施。</p> <p>コロナ禍の影響によりオンライン授業を導入。文部科学省管轄の学生の学習環境整備に係る補助金に申請し採択された。</p> <p>検討中。</p>
3	各センターの活動状況	<p>健康保健センター</p> <p>地域交流センター</p>	<p>健康保健センターは健康管理室、学生相談室とともに以下の活動を行ってきた。 新入生から回収した健康調査票を基に有病者や配慮を要する者をチェックし必要に応じて面談して情報を収集した。新入生の定期健康診断は4月に、在学学生は9月に学生が密にならないよう工夫して実施した。健康診断の結果より、受診・再検査などの必要があると思われる学生に対しては適宜指導を行った。けがや病気の緊急対応(一次対応)を行った。健康管理室の年間利用者は延べ39名であった(昨年度は90名)。その大半が内科的症状(頭痛、腹痛、生理痛、倦怠感等の体調不良)での利用であった。新型コロナウイルスの対応について学生並びに教職員へ注意喚起文書を学生、教職員へ配布した。発熱者への対応マニュアル作成に当たり新型コロナウイルス感染症対策本部に協力した。後期より学生委員会と共同で昼食時に学生が集まる領域の感染症対策状況を見回った。学生相談室では、カウンセリングルームを週2日開室し学生相談に応じた。学内立ち入り禁止期間中は、電話カウンセリングで相談に対応した。授業再開後も継続して電話カウンセリングに応じた。利用は延べ91件、実人数17名であった。</p> <p>例年、離島プロジェクトとして実施している、小豆島町と連携した島の活性化事業「小豆島地域交流合宿(地域との協働B)」を新型コロナウイルス感染症の影響を考え、活動場所を淡路島に変更し計画を進めたが、福島へのスタディツアー同様、中止となった。 このほか、地域住民へ生涯学習の場を提供するという目的のもと、「公開講座」を含む9講座開講予定であったが、実際に対面で開催できたものが3講座、オンライン開催2講座、中止が2講座。日程変更でこれから開催予定が2講座となった。また、通常であれば前期公開講座には「芸術文化論」の特別聴講も複数組み入れているが、新型コロナウイルス感染症の影響で同授業が後期開催に変更となったため、例年よりも講座本数は減となっている。</p>

3	各センターの活動状況	国際交流センター	<p>学生の国際的な視野の獲得、新たな知識の習得と共感力の向上。これらに資することを目的として本センターは例年、様々な国際交流活動を展開してきた。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、海外研修、国際交流関係のプログラムは中止とせざるを得なくなった。そこで、本年度は以下の活動を行った。</p> <p>①次年度以降のネパール研修生の派遣と受け入れの時期、内容の検討  ②大学コンソーシアムひょうご神戸国際交流委員会副委員長校として、コンソーシアムプログラムの検討  ③国際交流センター主催の新規開講予定基盤教育科目「国際理解」の内容協議とその準備  ④国際交流センターの資料整備</p>
		教職支援センター	<p>「令和2年度教職支援プログラム・年間予定表」に基づき、教職支援センター事務局と連携を図りながら教員採用試験対策を実施した。</p> <p>こども教育学科6期生の小学校教諭志望者の採用試験結果は、公立小学校に正規採用された者が、のべ3名（神戸市1名、大阪府豊能市1名、岡山市1名）、3年任期付きで採用された者が、2名（神戸市、東京都）であった。既卒生は、5期生4名（兵庫県2名、大阪市2名）が、正規採用された。令和2年度は、計7名の正規採用合格者を輩出した。</p> <p>看護学科看護教諭採用試験結果については、9期生が福井県に、2期生および3期生それぞれ1名が兵庫県に正規採用された。難関の看護教諭採用試験においては、計3名の合格者を輩出できた。</p>
		KTU 研究開発推進センター	<p>今年度の目標には、①研究環境の整備の一環として、「テーマ別研究」の応募区分に「地域研究」枠と「教育研究」枠の新設、②多様な研究人材を活かし、医療・保健分野における基礎的・先導的研究の推進を図るために、「研究シーズ集」の作成と学内外への公開、③「外部資金」獲得のための支援体制の構築として、「外部資金」募集案内の全学的発信と、特に若手研究者に対する応募書類の校閲と加筆修正のアドバイス、を挙げた。</p> <p>①については、昨年度のテーマ別研究募集要項から「地域研究」枠と「教育研究」枠を設けて募集し、採択を決定した。「地域研究」枠と「教育研究」枠への申請数はセンターの意向通り、おおむね順調に推移している。</p> <p>②については、2020年9月の神戸常盤学術フォーラムにて学内公開済みの原稿を加筆修正のうえ、HP上にて外部公開した。</p> <p>③については、本学に届いた「外部資金」募集案内については毎回オールメールでの全学的発信を行っている。また、科研費の11月の申請期限に向けて9月の神戸常盤学術フォーラム（コロナ禍のためonline開催）での説明会を実施し、その後、申請期限までに学内にて申請書類の校閲と加筆修正のアドバイスを行った。結果として今年度は、科研費の申請者が26人（昨年度27人）、採択数が4人（昨年度6人）であった。</p>
		口腔保健研究センター	<p>地域住民および玉田学園関係者の口腔の健康の維持増進のため、以下について行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地域の口腔保健関連事業への参画への取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座：少人数対面型（前期）（11名）とweb利用（後期）（14名）実施</li> <li>子育て支援施設「KIT」で歯の相談会の実施：9回開催（57名参加）</li> <li>子育て支援施設「モトロク」で歯の相談会の実施：7回開催（61名参加）</li> <li>はすいけ介護予防教室1回講演（14名参加）</li> </ul> </li> <li>地域住民・学生・学園教職員の口腔保健の向上への取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>歯科健診の実施：神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科の新入生74名、ときわ幼稚園児36名、神戸常盤女子高等学校生816名</li> <li>歯科診療所での教職員・学生・地域住民の定期的な口腔管理の実施（計391名）</li> <li>活用のための需要アンケートを学生に実施（期間：9月10日から10月12日）：有効回答数653件（診療内容希望：1位 ホワイトニング（42%）、2位 う蝕治療（30%）、3位 歯科矯正（15%）。この結果を踏まえて、ホワイトニングに関する施術のための準備を行い、令和3年度からモニター募集を開始した。</li> <li>歯科診療所のパンフレットのリニューアルを行った。</li> </ul> </li> </ol>
		子育て総合支援施設（KIT）	<p>人的環境の整備が進み、活動の活性化も安定した。地域のニーズに対応した内容での事業を展開することもできた。開催実績として、合計59日の特別イベントを実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が発出されたため4月、5月が完全閉室となった。その中で本学学生（看護学科・こども教育学科・口腔保健学科）の臨地実習先となり、学生の実践的な学びの場となっている。その成果として特にこども教育学科では、志望理由にKITの存在を挙げる受験生が増加している。さらに地域に根ざした研究の拠点ともなっており、その成果はさまざまな機会に発表されている。</p>
ライフサイエンス研究センター	<p>本センターを16名の研究者が利用し、遺伝子組み換え、遺伝子増幅、遺伝子解析、細胞培養実験、フローサイトメトリー等を行っている。その結果、外部研究費として令和2年度は科研費 基盤研究（C）代表研究4件、分担研究5件、若手研究1件、日本医療研究開発機構分担研究が2件、神戸大学との共同研究費に採択された。</p> <p>研究成果として英論文11編、和論文8編、国際学会発表4回、国内学会発表15回を行った。また、IEEE/IIAI AIT 2020でOutstanding Paper Awardを受賞した。特筆すべきは、SARS-CoV-2遺伝子検出キットを開発し、令和2年10月に保険収載された点である。</p>		
4	【新規】学園のブランド力向上に向けた間接広報の充実	<p>学園の認知度（ブランド力）向上に繋がる、より戦略的な広報を学園全体で展開していく。</p>	<p>本学のキャラクターである「ときワン」が今年で最終開催となる【ゆるキャラグランプリ】にエントリーした。併せて、本学提供番組「瀬戸内の胸の内」の企画として「ときワン」似顔絵コンテストを開催した。KissFMのオフィシャルSNS等でときワンの認知度を高める活動ができた。</p>

5	地域貢献	<p>近年、学園に対する地域社会からのニーズは年々増加し、その内容も多岐にわたる。地域の要請に、より迅速かつ的確に対応するとともに、学生への教育効果を更に高めるため、地域交流センター（ボランティアセンター含む）を中心に、「地域の課題解決」や「まちの活性化」、「ボランティア（平時・有事）活動」などの幅広い活動を展開する。地域社会＝（イコール）学びのフィールドと位置付け、大学生・高校生は教育課程内外の様々な活動を通じて地域貢献を果たすと同時に、生き抜く力（いわゆる人間力）を身に付けることを目的に事業を推進する。また、大学の教学マネジメント改革により、新たに教育課程内の授業に地域活動を取り入れる。（授業科目名：「地域との協働A」、「地域との協働B」など）</p> <p>また、コミュニティハウスで取り組む「まちの活性化プロジェクト」においては、地元の大きな期待と神戸市の要請を受け、兵庫県・神戸市の協力のもと、平成29年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」を活用して、震災復興再開地区の不活性エリア（新長田南地区）に、神戸常盤大学子育て総合支援施設「KIT」を開設。引き続き、未就園児から小学生まで切れ目の無い子育て支援事業を計画する。令和1年に合同庁舎がオープンしたことを受け、神戸市或いは長田区と一層の連携を図り、ひいては地域貢献に繋がる活動等ができればと考えている。</p> <p>このほか、多文化共生を推進していく母体の片翼でもある「ときわ健康キャラバン」が「しんかいち国際保健室」、「カトリックたかとり教会」、「おやこふらっとひろばながた」等で定期的に活動を行っている。</p>	<p>神戸常盤大学子育て総合支援施設「名称：KIT」が開設し、3年目となる。</p> <p><b>子育て広場「ときわクニヅカ」利用者状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎集計期間：2020年4月～2021年3月</li> <li>◎開設日数：196日 ※緊急事態宣言発出のため4～5月は完全閉室</li> <li>◎利用者延べ人数：7,874名</li> <li>◎1日あたりの平均利用者数：40.2名</li> <li>昨年度平均利用者実績：32.8名/1日</li> </ul> <p><b>学びの場「てらこや」利用者状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎集計期間：2020年4月～2021年3月</li> <li>◎開設日数：179日 ※緊急事態宣言発出のため4～5月は完全閉室</li> <li>◎利用者延べ人数：179名</li> <li>◎1日あたりの平均利用者数：7.5名</li> </ul> <p>※2021年3月は月間の利用者が230名となり実績が周知されてきていると言える。</p> <p>本学2施設目の子育て広場「ときわモトロク」も運営開始より3年目となる。</p> <p><b>「ときわモトロク」利用者状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎集計期間：2020年4月～2021年3月</li> <li>◎開設日数：195日 ※緊急事態宣言発出のため4～5月は完全閉室</li> <li>◎利用者延べ人数：5,840名</li> <li>◎1日あたりの平均利用者数：29.95人</li> <li>昨年度平均利用者実績：37.83名/1日</li> </ul> <p>緊急事態宣言発出のため6月からの再開となった。1時間ごとの予約・入替制度を実施。そのため「ときわクニヅカ」については利用者の1日平均については前年度実績を上回るという結果になったが、「ときわモトロク」については施設の広さを考慮し、利用可能人数を少なく設定したため利用者の1日平均が前年度比21%減となった。</p>
6	学園内の高大連携事業等の推進	<p>従前からの継続事業（「1 中期事業計画—【継続】学園一体化の更なる推進」とリンク）。学生・生徒の確保、質の向上、職業意識の向上など双方のメリットのある事業を協議・展開していく。関連施設の「子育て総合支援施設KIT」も有効活用していきたい。その他、地域交流センター、国際交流センター、神戸市との共同プロジェクト“コミュニティハウス”、の共同利用等により、地域貢献、国際交流等を通じた学生・生徒のスキルアップに繋がる事業を展開したい。</p>	<p>連携事業については、コロナ禍による5月の緊急事態宣言解除以降、状況を見ながら、かつ3密を避けながら実施を進めた。医療検査学科、看護学科、並びに口腔保健学科の体験授業を実施し、専門職に対する理解、並びに女子高生生の学習意欲の維持・向上に努めた。看護学科については、実際の授業に参加することが難しかったため、講義のみの実施となった。こども教育学科については、大学特進こども教育コース科目「保育進学基礎」にてこども教育学科専任教員と連携した授業を実施。加えて、体験授業を2回実施し、生徒のモチベーション向上に繋げた。このほか、歯科検診、進路ガイダンス、進学説明会、進路講座など、概ね計画どおり実施した。ときわ病院見学については病院に赴くことが難しかったため、高校にて車椅子体験などを実施した。なお、KOBE TOKIWA 健康ふれあいフェスタ、女子高文化祭「健康講座」への協力、ときわ幼稚園見学についてはコロナ禍により中止とした。</p>
7	その他	<p>・ナレッジキャピタルでの大学都市「神戸」の魅力発信プロジェクトへの参画</p> <p><b>【概要】</b></p> <p>神戸市の平成26年度からの継続事業として、“大学都市”神戸の魅力発信を行うとともに産学による新たなコラボレーションを促進すべく、市内7大学と神戸市が連携してグランフロント大阪の中核施設である「ナレッジキャピタル」において魅力発信事業を展開する。</p> <p>また、新たに開設した「診療放射線学科」と本学の強み・魅力を広く発信する「間接広報」としても当該施設を大いに活用し、ひいては学生募集並びに学園の発展に繋げたい。</p> <p><b>【展示期間】</b></p> <p>令和2年4月22日～6月23日の2ヶ月間</p> <p>・ネーミングライツ（命名権）の更新・継続</p> <p>平成29年度より兵庫県立文化体育館のネーミングライツ（命名権）を取得。令和2年度更新契約（4年目）。</p> <p><b>【公募機関】</b> 兵庫県</p> <p><b>【名称】</b> 神戸常盤アリーナ</p> <p><b>【契約期間】</b> 令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年間、更新可能）（通算4年目）</p> <p>・ラジオ番組提供 ※平成31年5月より提供開始し、令和2年3月末までに48回放送</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎番組名：STU48の瀬戸内の胸の内（Kiss FM KOBE）</li> <li>◎放送日時：毎週土曜日 12:00～12:55</li> <li>◎契約期間：1年間</li> </ul> <p>備考：上記契約に付随し、Kiss Press（2020年4月よりフリーペーパーよりWEB版へ移行）に年間広告掲載を行う。</p>	<p>・ナレッジキャピタルでの大学都市「神戸」の魅力発信プロジェクトへの参画</p> <p>本学展示期間は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎令和3年5月20日から7月21日</li> </ul> <p>※緊急事態宣言が発生されており、休館中のため展示開始出来ない。</p> <p><b>&lt;場所&gt;</b> グランフロント大阪 ナレッジキャピタル アクティブスタジオ</p> <p>計画とおり掲出。（更新：4年目）</p> <p>令和2年10月より月曜日から木曜日の帯番組「STU48のセトムネ」となった。放送時間も変更となり、平日夕刻の帯番組になることで、さらに多くの方々に大学の名前を憶えてもらえる機会になったと考えている。</p>

大 学・短大部																																																																																										
1	大学（短大部）の中 期計画の策定・実行	<p>学長室を中心とし、大学（短大部含む）の中期計実行画を策定。実施に向けた具体策を今後検討していく。</p>	<p>計画どおり策定。本学 Web サイトにて公表するとともに、9月18日にはオンラインにて今年度の中間報告を行い、全学周知を図るなど、計画に基づき遂行。</p>																																																																																							
2	キャリア支援の充実 及び学生支援の充実	<p>和2年度も各学科就職委員会と連携のうえ、就職支援に取り組む。従来より推進する「キャリアサポーター（卒業生）」の参加型による在校生へのガイダンス、懇談会等を充実させ、業界研究、職種研究等の就職活動の準備対策に繋げていく。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響により、就職活動時期が早期の看護学科、一般企業への就職希望者に対しては、新年度早々に企画しているガイダンス等に影響が出るため、計画変更しながら推進していく。</p> <p><b>【医療検査学科】</b> 臨床検査技師求人については、求人が潤沢な検査センター、検診センターの見学等を行い、学生の職業観を醸成し、進路選択の幅を広げた就職支援を行なう。 就職希望の多い病院の求人については、兵庫県内に留まらず、地方出身学生の求人開拓を積極的に行う。</p> <p><b>【診療放射線学科】</b> 今年度開設のため、就職支援（ガイダンス等）の計画は無いが、他学科の求人訪問の際には新学科の周知を行い、3年後に繋げて行きたい。</p> <p><b>【看護学科】</b> 看護師求人については、近年の求人減少傾向から、試験日程の早期化、試験回数の縮小から、早期の就職活動が不可欠となっている。3年の4月よりガイダンスを計画しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施時期が遅れる可能性があるが、ネット配信等工夫しながら実施していく。</p> <p><b>【こども教育学科】</b> 就職先として小学校、幼稚園、保育園、福祉施設が主であるが、小学校教諭、公立幼稚園・保育所に関しては就職支援センターと連動して、採用試験対策を講じていく。民間施設については、県、市の外郭団体との信頼関係の中、毎年複数名が就職出来ており、今後も関係を強化していく。 一般就職希望者に対しては、新型コロナウイルス感染症の影響で合同説明会が中止になっており、業者等と綿密に連携しながら支援していく。</p> <p><b>【口腔保健学科】</b> 平成20年開設以来、歯科診療所への就職が主である。大学病院、総合病院、保健所、歯科企業への就職については、求人数も少なく狭き門であるが、今後もキャリアサポーター（卒業生）の力を借り、病院、企業等の就職者を増やして行く。</p> <p>学生支援業務については、令和2年度より導入させる高等教育修学支援新制度（授業料減免、給付型奨学金）を漏れなく該当学生に支援出来るよう業務に取り組む。また本学独自の修学支援奨学金と同様の性質を持つため、制度変更を検討する。</p>	<p>●令和2年度就職状況（令和3年5月1日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>卒業生</th> <th>進学希望者</th> <th>進学者</th> <th>就職希望者</th> <th>就職者</th> <th>就職率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療検査</td> <td>72</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>69</td> <td>63</td> <td>91.3%</td> </tr> <tr> <td>看護</td> <td>78</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>76</td> <td>76</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>こども教育</td> <td>84</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>80</td> <td>80</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>口腔保健</td> <td>64</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>64</td> <td>60</td> <td>93.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>●令和2年度国家試験合格率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> <th>合格率</th> <th>全国平均 (新卒)</th> <th>全国平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>72</td> <td>69</td> <td>95.8%</td> <td>91.6%</td> <td>80.2%</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>77</td> <td>76</td> <td>98.7%</td> <td>95.4%</td> <td>90.4%</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>100.0%</td> <td>97.4%</td> <td>94.3%</td> </tr> <tr> <td>歯科衛生士</td> <td>63</td> <td>59</td> <td>93.7%</td> <td>94.8%</td> <td>93.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■キャリアサポーター（卒業生）による勉強会の実施 コロナ禍の影響に伴い対面未実施のため、前・後期予定分は概ね中止となった。</p> <p>遠隔等実施分</p> <p><b>【看護学科】2年生、3年生対象</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月7日～14日</td> <td>先輩保健師の話を聞く会（You Tubu 視聴）</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【口腔保健学科】2年生対象</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月26日</td> <td>現場で活躍する歯科衛生士の話を聞く会（ビデオ視聴） とよつ歯科、サンスター財団千里診療所</td> </tr> <tr> <td>1月26日</td> <td>現場で活躍する歯科衛生士の話を聞く会（ビデオ視聴） 神戸大学医学部附属病院、たるみ歯科クリニック</td> </tr> </tbody> </table> <p>※8月に大学にてビデオ撮影</p> <p>■企業研究</p> <p><b>【医療検査学科（進路勉強会3年生対象）】</b> ・検査センター、健診センター 見学会 <b>中止</b> ・企業担当者による進路勉強会 <b>中止</b></p> <p>■各種団体との懇談会（こども教育学科） ・各県、市、幼稚園協会、保育協会、保育連盟等概ね中止、一部オンラインにて実施</p> <p>■施設訪問</p> <p><b>【病院訪問】</b> コロナ禍の影響に伴い施設訪問中止</p> <p><b>【幼稚園・保育所・施設訪問】</b> ・こども教育学科教員による施設巡回 32施設</p> <p>■各種講座</p> <p>SPI 講座</p> <p><b>【全学科】全学年</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>事 項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月17日、18日</td> <td>SPI 講座</td> </tr> </tbody> </table> <p>小論文講座 対象3年生</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>学 科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月6日</td> <td>口腔保健学科</td> </tr> <tr> <td>10月13日</td> <td>医療検査学科</td> </tr> <tr> <td>3月8日</td> <td>看護学科</td> </tr> </tbody> </table>		卒業生	進学希望者	進学者	就職希望者	就職者	就職率	医療検査	72	3	3	69	63	91.3%	看護	78	0	0	76	76	100.0%	こども教育	84	2	2	80	80	100.0%	口腔保健	64	0	0	64	60	93.8%		受験者数	合格者数	合格率	全国平均 (新卒)	全国平均	臨床検査技師	72	69	95.8%	91.6%	80.2%	看護師	77	76	98.7%	95.4%	90.4%	保健師	23	23	100.0%	97.4%	94.3%	歯科衛生士	63	59	93.7%	94.8%	93.0%	月 日	事 項	9月7日～14日	先輩保健師の話を聞く会（You Tubu 視聴）	月 日	事 項	10月26日	現場で活躍する歯科衛生士の話を聞く会（ビデオ視聴） とよつ歯科、サンスター財団千里診療所	1月26日	現場で活躍する歯科衛生士の話を聞く会（ビデオ視聴） 神戸大学医学部附属病院、たるみ歯科クリニック	月 日	事 項	3月17日、18日	SPI 講座	月 日	学 科	8月6日	口腔保健学科	10月13日	医療検査学科	3月8日	看護学科
	卒業生	進学希望者	進学者	就職希望者	就職者	就職率																																																																																				
医療検査	72	3	3	69	63	91.3%																																																																																				
看護	78	0	0	76	76	100.0%																																																																																				
こども教育	84	2	2	80	80	100.0%																																																																																				
口腔保健	64	0	0	64	60	93.8%																																																																																				
	受験者数	合格者数	合格率	全国平均 (新卒)	全国平均																																																																																					
臨床検査技師	72	69	95.8%	91.6%	80.2%																																																																																					
看護師	77	76	98.7%	95.4%	90.4%																																																																																					
保健師	23	23	100.0%	97.4%	94.3%																																																																																					
歯科衛生士	63	59	93.7%	94.8%	93.0%																																																																																					
月 日	事 項																																																																																									
9月7日～14日	先輩保健師の話を聞く会（You Tubu 視聴）																																																																																									
月 日	事 項																																																																																									
10月26日	現場で活躍する歯科衛生士の話を聞く会（ビデオ視聴） とよつ歯科、サンスター財団千里診療所																																																																																									
1月26日	現場で活躍する歯科衛生士の話を聞く会（ビデオ視聴） 神戸大学医学部附属病院、たるみ歯科クリニック																																																																																									
月 日	事 項																																																																																									
3月17日、18日	SPI 講座																																																																																									
月 日	学 科																																																																																									
8月6日	口腔保健学科																																																																																									
10月13日	医療検査学科																																																																																									
3月8日	看護学科																																																																																									

2 キャリア支援及び学生支援の充実

**■令和2年度修学支援奨学金（コロナ対応）**

高等教育の修学支援制度導入により、今年度より制度変更

コロナ禍の影響により家計収入が年間で昨年より30%以上減少する者を対象として募集

学 科	対 象	金 額	人 数	合 計 (円)
医療検査	全学年	300,000	2	600,000
看護	〃	300,000	4	1,200,000
こども教育	〃	300,000	3	900,000
口腔保健	〃	300,000	2	600,000
合 計	—	—	11	3,300,000

**■国の施策「学びの継続」のための学生支援緊急給付金（10万円／非課税世帯20万円）**

学 科	学 年	応 募 数	1 回 目	2 回 目	3 回 目	採 用 計	不 採 用
医療検査	1	21	14	2	1	17	4
	2	4	3	1		4	0
	3	10	6	2	1	9	1
	4	15	9	4	1	14	1
診療放射線	1	15	10	3	1	14	1
看護	1	13	12	1		13	0
	2	12	9	3		12	0
	3	19	14	2		16	3
	4	23	17	3	1	21	2
こども教育	1	11	7	2		9	2
	2	14	7	2		9	5
	3	15	9	3		12	3
	4	23	14	3		18	5
口腔保健	1	12	7	1	2	10	2
	2	20	6	4	2	12	8
	3	11	5	2	4	11	0
合 計		238	149	38	13	201	37

**■国の助成事業**

下宿生の学生生活を送るための食費及び一時的な帰省に係る交通費の一部を補助

支給額 2万円／1人

助成金 106万円

学 科	対 象	金 額	人 数	合 計 (円)
医療検査	下宿生	20,000	22	440,000
診療放射線	〃	20,000	5	100,000
看護		20,000	17	340,000
こども教育	〃	20,000	6	120,000
口腔保健	〃	20,000	13	260,000
合 計	—	—	63	1,260,000

3	<p>入学者の安定確保</p>	<p>近隣地域で本学と同系統の学科が競合し、また専門職大学の開設、学科の新設により厳しい状況が見込まれる。それを踏まえ、入学者を安定的に確保するには、本学の特色と確たる実績を周知することで知名度を高めると共に在学生の自尊心を高揚させ、資質の向上を図り満足度を高める必要がある。</p> <p>そのためにも、学生募集戦略に立った日常的な広報活動に加えて県外への広報をより強化すると共に、教職員一人ひとりが大学力の向上を目指す意識を持ちつつ、各委員会では議論を活発化させる中で情報を共有し、一層の連携強化・充実を図る。</p> <p>また、令和2年4月より開設する県内大学初の診療放射線学科が、県内診療放射線技師志望者の受け皿となるだけでなく、より充実したチーム医療を実践できる大学であることの強みを生かした広報活動を展開していく。</p> <p>さらに、こども教育学科を中心に ALL 常盤で取り組んできた「KIT」での活動が学生にとってまたとない実践の場となると共に、地域への貢献になっていることを積極的に広報することによって学生の確保を図る。</p> <p>看護学科通信制課程においては、法人本部・大学事務局が連携して近畿圏、及び北陸地方での病院訪問し広報に努めてきたが、前年度と同様に入学定員である 150 名を確保することができず、入学予定者は 109 名と振るわぬ結果となった。</p> <p>2020 年度入試より、他の養成校の入学試験実施時期を考慮して出願期間を早期化し、それに合わせて本学主催の進学説明会を東京・金沢で各 2 回実施した。進学説明会の参加者は前年よりも増加したが、出願者の確保には繋げることができなかった。</p> <p>本課程の出願要件である准看護師としての就業経験が 10 年から 7 年に短縮され 2 年が経過したが、これをさらに「5 年」に見直すための検討に入ったとの情報も伺っている。これについて、直ちに入学定員が確保できるようになるという訳ではないが、カリキュラムや教員組織変更の必要に迫られる可能性もあるため、厚生労働省の動向を注視しながら広報を展開し、学生確保に努めていきたい。</p>	<p><b>①入学者等</b></p> <p>(令和2年度) <u>536名</u></p> <table border="1"> <tr> <td>神戸常盤大学 保健科学部</td> <td>医療検査学科</td> <td>86名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>看護学科</td> <td>81名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>診療放射線学科</td> <td>86名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>看護学科(編入学)</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>こども教育学科</td> <td>96名</td> </tr> <tr> <td>神戸常盤大学短期大学部</td> <td>口腔保健学科</td> <td>77名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>看護学科通信制課程</td> <td>109名</td> </tr> </table> <p>(令和3年度) <u>539名</u></p> <table border="1"> <tr> <td>神戸常盤大学 保健科学部</td> <td>医療検査学科</td> <td>87名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>看護学科</td> <td>87名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>診療放射線学科</td> <td>85名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>看護学科(編入学)</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>こども教育学科</td> <td>85名</td> </tr> <tr> <td>神戸常盤大学短期大学部</td> <td>口腔保健学科</td> <td>79名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>看護学科通信制課程</td> <td>114名</td> </tr> </table> <p><b>②高校訪問</b></p> <p>訪問学校数延べ 189 校 (昨年 351 校) (内訳: 県内 189 校)</p> <p><b>③病院及び診療所訪問</b></p> <p>看護学科通信制課程においては、コロナ禍により、例年実施している病院訪問を全地域において中止を余儀なくされた。</p> <p>同様に東京・金沢会場での進学説明会も実施が危ぶまれたが、金沢会場のみではあるが 8 月に開催することができた。参加者は 9 名のみであったが、全員が出願し、入学につながっている。また、11 月に本学にて通信制課程単独でミニオープンキャンパスを実施し、5 名が参加し、全員が入学に至っている。</p> <p>広報活動は大幅に縮小したが、2021 年度の入学生は 114 名となり、前年度に比べ微増という結果となった。病院訪問や県境をまたぐ必要のある広報活動は引き続き困難な状況が続くが、1 名でも多くの入学生確保に努めていきたい。</p> <p><b>④オープンキャンパス</b></p> <p><b>&lt;参加者数&gt;</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回</td> <td>6 月 21 日</td> <td>169 名</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>6 月 28 日</td> <td>172 名</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>7 月 12 日</td> <td>264 名</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>7 月 19 日</td> <td>172 名</td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>8 月 1 日</td> <td>292 名</td> </tr> <tr> <td>第 6 回</td> <td>8 月 2 日</td> <td>263 名</td> </tr> <tr> <td>第 7 回</td> <td>8 月 29 日</td> <td>329 名</td> </tr> <tr> <td>第 8 回</td> <td>9 月 6 日</td> <td>204 名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1,865 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※昨年度 2,743 名</p> <p><b>⑤業者主催入試説明会</b></p> <p>業者主催 兵庫県内、近畿、中四国エリアにて、高校内進学相談会含め 115 会場</p> <p><b>⑥入試関係</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型選抜</li> <li>・公募推薦型選抜</li> <li>・指定校推薦型選抜</li> <li>・一般選抜前期</li> <li>・一般選抜中期</li> <li>・一般選抜後期</li> <li>・大学入学共通テスト利用選抜</li> <li>・大学入学共通テスト利用選抜 2 次</li> <li>・社会人特別選抜</li> <li>・外国人留学生特別選抜</li> <li>・看護学科第 3 年次編入学選抜</li> <li>・看護学科通信制課程課題提出型入試 1 次</li> <li>・看護学科通信制課程課題提出型入試 2 次</li> <li>・看護学科通信制課程課題提出型入試 3 次</li> <li>・看護学科通信制課程自己推薦入試 1 次</li> <li>・看護学科通信制課程自己推薦入試 2 次</li> <li>・看護学科通信制課程自己推薦入試 3 次</li> <li>・看護学科通信制課程推薦入試 1 次</li> <li>・看護学科通信制課程推薦入試 2 次</li> </ul>	神戸常盤大学 保健科学部	医療検査学科	86名		看護学科	81名		診療放射線学科	86名		看護学科(編入学)	1名	教育学部	こども教育学科	96名	神戸常盤大学短期大学部	口腔保健学科	77名		看護学科通信制課程	109名	神戸常盤大学 保健科学部	医療検査学科	87名		看護学科	87名		診療放射線学科	85名		看護学科(編入学)	2名	教育学部	こども教育学科	85名	神戸常盤大学短期大学部	口腔保健学科	79名		看護学科通信制課程	114名		開催日	参加者数	第 1 回	6 月 21 日	169 名	第 2 回	6 月 28 日	172 名	第 3 回	7 月 12 日	264 名	第 4 回	7 月 19 日	172 名	第 5 回	8 月 1 日	292 名	第 6 回	8 月 2 日	263 名	第 7 回	8 月 29 日	329 名	第 8 回	9 月 6 日	204 名	合計		1,865 名
神戸常盤大学 保健科学部	医療検査学科	86名																																																																									
	看護学科	81名																																																																									
	診療放射線学科	86名																																																																									
	看護学科(編入学)	1名																																																																									
教育学部	こども教育学科	96名																																																																									
神戸常盤大学短期大学部	口腔保健学科	77名																																																																									
	看護学科通信制課程	109名																																																																									
神戸常盤大学 保健科学部	医療検査学科	87名																																																																									
	看護学科	87名																																																																									
	診療放射線学科	85名																																																																									
	看護学科(編入学)	2名																																																																									
教育学部	こども教育学科	85名																																																																									
神戸常盤大学短期大学部	口腔保健学科	79名																																																																									
	看護学科通信制課程	114名																																																																									
	開催日	参加者数																																																																									
第 1 回	6 月 21 日	169 名																																																																									
第 2 回	6 月 28 日	172 名																																																																									
第 3 回	7 月 12 日	264 名																																																																									
第 4 回	7 月 19 日	172 名																																																																									
第 5 回	8 月 1 日	292 名																																																																									
第 6 回	8 月 2 日	263 名																																																																									
第 7 回	8 月 29 日	329 名																																																																									
第 8 回	9 月 6 日	204 名																																																																									
合計		1,865 名																																																																									

4	自己点検・評価への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>「大学第Ⅰ期中期実行計画（案）」における「自己点検・評価に関する計画」に基づき、内部質保証に関する全学的な方針を明示し浸透させる。</li> <li>各組織のPDCAサイクルの「P」における年度当初に策定内容を全学共有する。また大学中期計画の下に、年度目標の実行力を高め、年度末の総括評価に至る過程を充実させ、全学的な自己改善へのフィードバック体制を確立する。</li> <li>「短期大学基準協会」による認証評価受審のために、既に組織している「短期大学部認証評価準備委員会」を中心に、的確な「自己点検・評価報告書」を提出し、また訪問調査を円滑に受ける。</li> <li>次年度受審予定の「日本高等教育評価機構」による大学認証評価の準備を円滑に行い、特に学修成果の自己点検評価機能を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第Ⅰ期中期実行計画」における「自己点検・評価に関する計画」は、第2回教授会にて承認された。内部質保証に関する全学的な方針の明示のために、「神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部 内部質保証の推進に関する方針」を策定し、基本的な考え方として①目的、②組織体制、③客観性の担保、④学内評価風土の醸成を示した。</li> <li>令和2年度「第Ⅰ期実行計画に基づく各組織の活動計画」を一覧表として提示し、各組織の活動計画（PDCAサイクルのP）を学内で共有した。また、「中期実行計画」に対応させて、直接実行に携わる18組織、関連する組織8組織に整理改変した計画一覧とした。中期実行計画に基づく点検・評価は期間の中間（2年）及び終了時（4年）に実施する計画を策定した。</li> <li>短期大学部の認証評価については、準備委員会及び代表者連絡会議等にて準備を重ね、「神戸常盤大学短期大学部 自己点検・評価報告書」を、7月27日に短期大学基準協会に提出した。その後、評価員による書面調査への回答、および面談（10月16日、オンライン会議）を経て、令和3年3月に「自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしている」として「適格」の通知を受けた。</li> <li>大学の認証評価については、準備委員会及び代表者連絡会にて「自己点検評価書」作成を進めており、記載内容についてはほぼ完成に至っている。今後、令和3年6月に「自己点検評価書」を日本高等教育評価機構に提出し、11月に実地調査を受ける予定である。</li> </ul>
5	大学及び短期大学部における認証評価の受審	<p>先ず、短期大学部は令和2年度に短期大学基準協会の認証評価を受審する。その後、大学は令和3年度に日本高等教育評価機構の認証評価を受審する予定。</p> <p><b>（上記「4 自己点検・評価への取組」とリンク）</b></p>	<p>短期大学部については昨年10月16日に受審し、特段問題なく終了した。大学については令和3年度の受審に向けて代表者連絡会議を中心に鋭意準備中。</p>
6	口腔保健学科の四大化に向けた検討	<p>昨年度からの継続。設置届出の範囲内で口腔保健学科の四大化に向けた検討を学内で進めていく。<b>（上記法人「2 中期事業計画」とリンク）</b></p>	<p><b>（再掲）法人2 中期事業計画【継続】短期大学部口腔保健学科の四大化を含む今後の在り方の検討</b></p> <p>昨年8月より口腔保健学科四大開設準備委員会を設置し、2022年4月開設に向けて鋭意準備中。</p> <p><b>【これまでの経過及び今後の予定】</b></p> <p>2020年11月24日 事前相談（※1/22 「届出」による設置が可能）</p> <p>2021年3月24日 収容定員の総数の増加に係る学則変更認可申請書類 提出済（Web 経由）</p> <p>2021年4月27日 設置届出書類 提出済（Web 経由）</p> <p>2021年5月末 指定申請書類 提出予定（兵庫県進達（メール提出）にて）</p> <p>2022年4月 保健科学部口腔保健学科 開設予定</p>
7	国際交流関係事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネパール交換研修生の派遣を約1週間の期間で実施する。</li> <li>大学コンソーシアムひょうご神戸に海外学生派遣プログラムとして「国際保健医療活動Ⅱ（ネパール、米国）」を開放する。</li> <li>JICA 青年海外協力隊経験者を講師として招聘し、学生向け講演会を実施する。</li> <li>国際交流センター拠点としての同窓会室・国際交流センターの利用促進を図るべく、外部講師や他大学留学生による事業を実施する。</li> </ul>	<p>①<b>ネパール交換研修生派遣</b></p> <p>世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、研修生派遣を中止。代替事業として、『ネパール交換研修オンライン勉強会』を令和3年3月10日に実施。参加学生は発表者（日本）11名、発表者（ネパール）2名、視聴者（日本）12名であった。</p> <p>②<b>「国際保健医療活動Ⅱ」の海外研修（アメリカ、ネパール）</b></p> <p>上記①同様に中止。</p> <p>また、こども教育学科及び口腔保健学科の「海外研修」も中止となった。</p> <p>③<b>JICA 海外青年協力隊講演会</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大を受け中止。</p> <p>次年度は令和4年度開設予定科目の「国際理解」の準備も含め実施予定である。</p> <p>④<b>異文化体験プログラム「ヨガ教室」</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大を受け中止。</p> <p>⑤<b>次年度以降に向けた検討</b></p> <p>①で行ったICTを活用した国際交流の実施や令和4年度開設予定科目の「国際理解」の準備を進めた。</p>
8	競争的資金の獲得	<p>高等教育機関を取り巻く環境が目まぐるしく変化する中、国の施策を意識しながらも私学としての独自色を出した大学改革を推し進め、大学教育再生推進費などの国庫補助金を活用しながら更なる教育研究環境の充実に努める。また、KTU研究開発推進センターを中心とし学内の研究基盤整備を推進することにより、科研費等の採択率向上も目指す。</p>	<p>①<b>科学研究費補助金</b></p> <p>研究代表者分</p> <p>昨年度からの継続分が12件（転入2件含む）、今年度新規分6件、合計18件が採択。</p> <p>〔獲得金額〕直接経費：11,070,000円、間接経費：3,321,000円</p> <p>研究分担者分</p> <p>昨年度からの継続分含み17件が採択。</p> <p>〔獲得金額〕直接経費：3,480,000円、間接経費：1,044,000円</p> <p>②<b>受託研究費</b></p> <p>（株）日本食品エコロジー研究所 4,000,000円（直接経費3,600,000円、間接経費400,000円）</p> <p>極東製薬工業株式会社 4,000,000円（直接経費3,600,000円、間接経費400,000円）</p> <p>③<b>科学研究費獲得学内研修会</b></p> <p>神戸常盤学術フォーラムにて「科研申請者（率）アップについてのご協力のお願い」</p> <p>「科研費申請について」と題して実施。</p> <p>【日 時】令和2年9月4日～9月11日（manabaにてオンライン開催）</p> <p>【参加人数】78名（教員67名、職員11名）</p>
9	大学間連携事業の推進	<p>大学コンソーシアムひょうご神戸に海外学生派遣プログラム＜フィールドワーク型プログラム＞を開放し、中心的な役割を担う。また、単位互換事業にも本プログラムを開放する。</p>	<p><b>「国際保健医療活動Ⅱ」の海外研修（アメリカ、ネパール）</b></p> <p>世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、今年度のプログラム実施および単位互換事業への開放を中止した。</p>
10	産学連携事業の推進	<p>特命教授及び特命助教各1名とKten Bio（株）（H29設立）にて「環境中ノロウイルスの高感度検出キットの開発ならびに改良」「高感度、短時間で簡便な遺伝子検出技術の開発」プロジェクトを継続し、本事業への協力を行う。</p>	<p><b>Kten Bio 研究者による受託研究</b></p> <p>（株）日本食品エコロジー研究所 4,000,000円（直接経費3,600,000円、間接経費400,000円）</p> <p>極東製薬工業株式会社 4,000,000円（直接経費3,600,000円、間接経費400,000円）</p>

高 校			
1	中期計画の策定	①建学の精神の実践と努力目標の徹底	①建学の精神の実践と努力目標の徹底 (4「生徒指導」参照) 日々の活動の中で生徒一人一人に寄り添う指導を実践し、生徒との絆を深める。また、健全な社会人としての常識や人への優しさを身につけさせるため仲間との連携を深めさせる。授業や個別指導を通じて学力の向上を図り、将来への生きる力を育成する。
		②全職員による募集活動の推進	②全職員による募集活動の推進 (5、「募集対策」参照) 募集担当の職員を中心にオープンスクール、学校見学会等では全職員が関わる体制づくりを実施。今年度は新型コロナウイルス感染症の対策の一環としてオンラインによるオープンスクールを実施。7月、9月の2回、多くの職員、在校生による学校案内を実施した。
		③学力の定着と生徒のニーズに合った進路(進学・就職)保証	③学力の定着と生徒のニーズに合った進路(進学・就職)保証 (3「進路指導」参照) 進路実現のための学力向上を授業だけでなく、放課後等も個別指導を実施。就職希望者に対してはガイダンス、就職セミナーを通じて将来の社会人としての自覚を持たせた。12月以降の社会人講座では継続して勤務することの大切さを指導。
		④科・コースの特色化の推進	④科・コースの特色化の推進 (2「教育課程—各学科、コースの特色をアピールするプログラムの継続—」参照)
		⑤学園一体化にともなう事業の推進	⑤学園一体化にともなう事業の推進 (6「高大連携」参照)
		⑥ICT活用の検討	⑥ICT活用の検討 学習指導要領の改訂(2022年度)を受け、ICTの活用を検討。 ICT教育推進会(4月16日・28日、5月20日、9月16日、9月25日、10月22日、11月12日、1月21日、2月4日、3月18日) 職員用アンケート調査を実施。(7月15日) 校内ランによるWi-Fi環境を整備。(3月6日～4月6日) 来年度以降、プロジェクター、タブレット等の教育機器の整備を検討。  新型コロナウイルス感染症のため休校中の5月に職員手作りの授業動画135コマを配信した。7月、9月の2回のオープンスクールはオンラインで実施。
2	教育課程	※新型コロナウイルス感染症による教育活動の変更	<p>4月8日 2・3年生始業式 放送により実施。来週月曜日、13日より感染症予防のため休校になることを告げる。自宅での課題を配布。</p> <p>4月9日 新入生入学式 来賓、保護者、在校生は参加せず実施。式辞、歓迎の言葉、誓いの言葉のみ。付き添いで来ていた30名ほどの保護者は食堂、テラスで待機してもらった。式が終わり、ホームルームの時間に自宅での課題を配布。</p> <p>4月13日 感染症予防対策のため20日まで休校 担任による週1回の電話による家庭連絡を実施。</p> <p>4月16日～18日 1年生オリエンテーション合宿(蒜山高原)は中止。</p> <p>4月20日 感染症予防対策のため休校が5月6日まで延長。 この日、予定していた学年別登校日も中止。週1回の家庭連絡は継続。</p> <p>4月23日 追加の自宅での課題をホームページに掲載。</p> <p>4月27日 家庭でのインターネット環境を調査。</p> <p>5月1日 休校が6日以降も続く場合、インターネットによる授業動画が配信できるか検討。 授業動画を配信することを決定。教科ごとに動画作成を開始。</p> <p>5月11日 学年ごとに課題、授業動画配信についてのプリント等を自宅へ郵送。</p> <p>5月13日 授業動画のテスト配信。</p> <p>5月14日 授業動画の配信を開始。 動画は各教科で手作りで作成したものの学年、科、コース別で135コマ。週2日、5回配信。 インターネット環境調査で見られない生徒にはドコモから無料で借りたタブレットを郵送。</p> <p>5月26日～28日 学年別登校日。クラスの密を避けるため午前、午後にクラスの半数ずつ登校。</p> <p>6月1日 授業再開。ただし、13日までは密を避けるため午前、午後にクラスの半数ずつ登校。部活動再開。</p> <p>6月15日 通常授業開始。 健康観察(体温等)チェックシート、消毒、マスク着用、手洗い等を慣行。</p> <p>7月24日 オンラインによる第1回オープンスクール。中学生150名が事前登録。</p> <p>8月1日 1学期終業式</p> <p>8月20日 2学期始業式</p> <p>9月5日 オンラインによる第2回オープンスクール。中学生210名が事前登録。</p> <p>10月11日 文化祭 毎年、2日間実施していた文化祭を短縮し大学メインホールでのステージ発表だけを実施。密を避けるため、観覧者は3年生徒と3年保護者のみとした。 家庭科被服コースのファッションショー、こども教育コースのミュージカル、文化部の発表。 1年・2年には後日、ビデオにて鑑賞日を設けた。</p> <p>25日～12月20日 「見学会・入試説明会」 密を避けるため申込制、人数制限で土曜日、日曜日に14日、実施した。 来校した中学生は622名、保護者557名。</p> <p>11月8日 秋季遠足 中止</p> <p>24日 芸術鑑賞会 午後、密を避けて神戸常盤アリーナで実施。</p> <p>2月16日 予餞会(3年を送る会) 中止。生徒会が在校生のビデオを撮り卒業生に配信。</p> <p>25日 第72回卒業証書授与式 保護者の出席は1名以内。来賓は育友会長、みどり会会長のみ。在校生は代表生のみ。</p>

2	教育課程		<p>3月22日 3学期修了式 放送により実施。</p> <p>※授業日数を確保するため夏休みを短縮(8月2日～19日)。また、6月・7月・8月の隔週土曜日を授業日とした。冬休みも短縮予定。</p>								
		<p><b>①教科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科、コースにおいて特色ある教育課程の実践と検証</li> <li>・進路(進学・就職)に向けた習熟度別授業の実践と検証</li> <li>・学習指導要領改訂(2022)に向けての準備、検討</li> </ul> <p>教科科目の検討、授業の工夫とICT活用の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事等の検討と精選</li> </ul> <p><b>②特別活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動の項目、内容の検証</li> <li>・生徒会活動の活性化と外部との連携の検討</li> <li>・ボランティア活動への積極的な参加とボランティアセンターとの連携強化</li> <li>・福祉教育活動や体験活動の継続的な取り組み</li> <li>・部活動の強化と活性化</li> <li>・各学科コースの特色をアピールするプログラムの継続</li> </ul> <p><b>&lt;家庭科&gt;</b> 専門学校講師の実技指導、検定試験</p> <p><b>&lt;キャリアコース&gt;</b> 「トキワクト」、「キャリア実践」 各種検定試験</p> <p><b>&lt;特進コース&gt;</b> 習熟度別授業、少人数授業の検証</p> <p><b>&lt;全校生&gt;</b> 各種検定試験の継続 英語検定、漢字検定、硬筆書写検定、検定試験受験前講習会等</p>	<p><b>①教科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科、コースにおいて特色ある教育課程 (「各学科・コースの特色をアピールするプログラムの継続」に詳細を掲載)</li> <li>・進路(進学・就職)に向けた習熟度別授業</li> </ul> <p><b>&lt;1年&gt;</b> 総合コース「国語演習」3クラスを3段階に分けて4クラスの習熟度別授業を実施。 総合コース「数学Ⅰ」3クラスを4クラスに分けて習熟度別授業を実施。 総合コース「英語表現Ⅰ」3クラスを6クラスに分けて習熟度別授業を実施。 家庭科「数学Ⅰ」2クラスを3クラスに分けて習熟度別授業を実施。 こども教育コース「国語総合・古文」文系コースの生徒に開講。 こども教育コース「進学英語」文系コースの生徒に開講。 看護医療コース「数学Ⅰ」クラスを3クラスに分けて習熟度別授業を実施</p> <p><b>&lt;2年&gt;</b> 進学コース「コミュニケーション英語Ⅰ」2クラスを4つに分けて習熟度別授業を実施。 こども教育コース「国語古典B」文系コースの生徒に開講。 こども教育コース「進学英語」文系コースの生徒に開講。 看護医療コース「数学演習」1クラスを2クラスに分けて習熟度別授業を実施。</p> <p><b>&lt;3年&gt;</b> 家庭科調理製菓コース「調理」調理実習2クラスに同室指導。 こども教育コース「国語古典B」文系コースの生徒に開講。 こども教育コース「進学英語」文系コースの生徒に開講。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領改訂(2022)に向けての準備。教科科目の検討。授業の工夫とICT活用の検討。改定に伴う準備委員会を昨年度7回開催。今年度も引き続き開催した。 (4月22日、7月27日、9月9日、9月23日、10月28日、11月24日、1月20日、2月17日) ※検討されたことは職員会、教科会に報告。さらに検討を重ねた。</li> <li>・学校行事等の検討と精選 新型コロナウイルス感染症のため4月、5月と休校が続き授業時間数の確保が課題になった。1学期の終業式を8月1日の土曜日に実施、2学期の始業式も8月20日に実施。夏休み中も3年の進路に向けての個別保護者懇談会等を実施。また、土曜授業も実施した。</li> </ul> <p><b>②特別活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別活動の活動項目、内容の検証 6月以降、通常授業に戻り各学年とも授業時間数の確保を優先的に実施した。 3年は進路に関することを優先的に組み入れ実施。(3「進路指導」参照) 1年「防犯講座、スマホ・ケイタイ安全教室」 中止。</li> <li>・生徒会活動の活性化と外部との連携 生徒総会(資料配付)・運動部壮行会・陸上競技大会はいずれも中止。 文化祭の発表会(大学メインホール)に生徒会の力を注いだ。 文化祭テーマ「やる気、元気、本気、112(ひとつ)になろう時輪(ときわ)いま」 予餞会(3年を送る会)は中止になったが、生徒会が中心になり在校生のビデオを撮影、配信した。</li> <li>・ボランティア活動への積極的な参加とボランティアセンターとの連携強化 &lt;&lt;ボランティアセンター登録者数(今年はボランティア部員のみ登録)&gt;&gt;</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1119 2012 1919 2089"> <tr> <td>1年生</td> <td>2年生</td> <td>3年生</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>9名</td> <td>4名</td> <td>7名</td> <td>20名</td> </tr> </table> <p>ボランティア説明会(1年:7月8日) 今年度は地域でのボランティア活動はすべて中止。 夏休み中の福祉体験学習活動(神戸市主催)も中止。 ボランティア活動を題材にした「心の輪を広げる体験作文」の募集が神戸市福祉局主催であり、本校の生徒3名が受賞、ピフレホールにて表彰式が行われる。(12月5日) 高校一般部門 優秀賞1名 佳作2名 ボランティア部が地域の方と西代公園の草むしりボランティアに参加した。(8月3日・19日)</p>	1年生	2年生	3年生	計	9名	4名	7名	20名
1年生	2年生	3年生	計								
9名	4名	7名	20名								
2	教育課程		<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の強化と活性化 運動部9部 文化部20部 計29部 部活動部員数 運動部209名 文化部257名 合計466名 部活動加入率 1年生54.0% 2年生62.3% 3年生55.7% 全学年57.1%</li> </ul> <p><b>&lt;主な部活動の戦歴と活動&gt;</b> 部活動は6月から新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して再開。 運動部の全国総合体育大会が中止になり、競技によって地区の代替大会が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトボール部 兵庫県総合体育大会代替大会 準優勝 兵庫県高等学校新人ソフトボール大会 準優勝</li> <li>第66回全国私立高等学校選抜大会(今治市) 出場2次トーナメント敗退</li> </ul>								

2	教育課程		<p>バレーボール部 兵庫県私立男女優勝大会 準優勝 優秀選手に2名 全日本バレーボール高等学校選手権大会兵庫県予選 準優勝 神戸市秋季リーグ戦 優勝</p> <p>バスケットボール部 兵庫県高等学校バスケットボール大会 出場 神戸市秋季リーグ戦 ベスト16</p> <p>バトントワーリング部 兵庫県バトントワーリング大会 Aチーム 金賞 Bチーム 優秀賞 関西バトントワーリングコンテスト(個人) 金賞13名 銀賞4名</p> <p>弓道部 関西バトントワーリング大会(団体) 金賞 全国高等学校弓道選抜大会兵庫県予選 女子個人戦4位 神戸市秋季弓道大会 女子個人戦6位</p> <p>フットサル部 クーパーレディースカップ 優勝</p> <p>卓球部 神戸市大会代替大会 団体準優勝 個人シングル 3位</p> <p>硬式テニス部 兵庫県7部リーグ 優勝 来年度より6部リーグ昇格</p> <p>演劇部 ソニックホール高校演劇上演会 KOBE ナッツフェス出演 神戸市高等学校演劇発表会 最優秀演技賞1名 優秀演技賞1名</p> <p>書道部 「全国、書の甲子園」入選3名。応募数11,859作品 全国硬筆作品展 大阪市会議長賞1名 兵庫県私学の書展 入選1名</p> <p>ボランティア部 「心の輪を広げる体験作文」 優秀賞1名 佳作2名 第2回高校生ともしびボランティアアワード賞 受賞</p> <p>放送部 神戸地区放送アナウンス部門 銀賞 奨励賞</p> <p>・各学科コースの特色をアピールするプログラムの継続</p> <p><b>&lt;家庭科&gt;</b> 専門学校講師の実技指導、検定試験 調理実習については感染症対策を徹底しながら2学期(8月20日)より一部実施。 2・3年生服飾コース特別授業(9月15日) 上田安子服飾専門学校の講師を招き、服飾関係の指導と文化祭ファッションショーのアド バイスを受けるウォーキング講習を実施。</p> <p><b>&lt;キャリアコース&gt;</b> - 「トキワアクト」、「キャリア実践」 -</p> <p><b>【3年生】</b> 農業体験 4月、5月は職員で畑の整地作業を行った。 ときわ幼稚園との交流-さつまいもの苗植え- 今年は感染症のため実施できるか未定であるが、職員で苗植えは行った。 作物の植え付け作業、水やり、雑草抜き、収穫等。(6月からの毎週火曜日) 夏休み中(8月2日~19日)は生徒が当番制で水やり。 「令和2年度トキワアクト報告会」(1月26日)</p> <p><b>【2年生】</b> 体験実習プログラム NPO 楽農菜園の指導者との交流会(6月18日) 作物農業体験 作物の植え付け作業、水やり、雑草抜き、収穫等。(6月からの毎週木曜日) 3年と同じく夏休み中は生徒が当番制で水やり。</p> <p>○「鳴門オレンジを植樹、育てる」取り組みの一環として津名ふれあいセンターを訪問。 昨年に引き続き2年キャリアコースの生徒が研修を兼ねて校外学習を実施した。(8 月26日)</p> <p>○淡路市包括連携協定による有志生徒の淡路島を学ぶ研修 淡路島の集落や企業の取り組みを通じて淡路島を知る研修を実施。(9月26日)</p> <p><b>(収穫した作物、これから収穫予定の作物)</b> 茄子、オクラ、ピーマン、トマト、キュウリ、西瓜、カボチャ、トウモロコシ、ジャ ガイモ</p> <p><b>&lt;特進コース&gt;</b> <b>(2「教育課程」進路(進学・就職)に向けた習熟度別授業の実践と検証を参照)</b> 進路(進学・就職)に向けた習熟度別授業の実践と検証を参照。 こども教育コースは音楽科教師と専門のピアノ講師(2名)による希望生徒への授業 外個別レッスンを6月より再開。2年、3年生合わせて25名が放課後、レッスンを受 けている。 ピアノ個別レッスン発表会(2月17日)</p> <p><b>&lt;全校生&gt;</b> 英語検定2級、準2級、3級(10月2日、11月8日、1月22日、2月21日) 漢字検定(7月10日、10月31日、1月30日) 硬筆書写検定(7月23日、11月14日、1月29日) 日本語検定(11月13日) 情報処理検定(9月27日、1月31日) ビジネス文書実務検定(11月22日) 秘書検定(11月15日、2月7日)</p>
---	------	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2	教育課程	<b>③総合的な探究・学習の時間</b> ・総合的な探究・学習の時間の活動内容の検証	<b>③総合的な学習の時間</b> 新型コロナウイルス感染症のため、外部講師による「防犯講座」「性教育」等は中止。 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、調べ学習により病状や原因を調べ、実生活の予防対策に役立てるよう、健康面における自己管理意識を高めた。																										
3	進路指導	<b>①進路指導体制の充実</b> ・進学、就職の現状分析と課題の確認 ・進路先の拡充 ・就職内定者への「社会人準備講座」等	<b>【進路状況】</b> 卒業者数 <u>281名</u> <b>&lt;進路決定率&gt;</b> <u>94.0%</u> <b>a. 進学・就職者数</b> <table border="1" data-bbox="1056 522 1537 783"> <tr><td>進学</td><td>216名</td></tr> <tr><td>&lt;内訳&gt; 四年制大学</td><td>105名</td></tr> <tr><td>短期大学</td><td>21名</td></tr> <tr><td>専門学校</td><td>90名</td></tr> <tr><td>就職</td><td>48名</td></tr> <tr><td>家事・アルバイト等</td><td>15名</td></tr> <tr><td>未定</td><td>2名</td></tr> </table> <b>b. 神戸常盤大学・同短期大学部への推薦入学者数</b> <table border="1" data-bbox="1056 848 1455 1074"> <tr><td>医療検査学科</td><td>5名</td></tr> <tr><td>看護学科</td><td>15名</td></tr> <tr><td>診療放射線学科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>こども教育学科</td><td>16名</td></tr> <tr><td>口腔保健学科</td><td>9名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>46名</td></tr> </table> <b>①進路指導体制の充実</b> 本校へ求人を送ってきた事業社、求人数 事業社：指定求人 92社 公開求人社 439社 求人数：555名  感染症のため就職試験開始が1か月遅れの10月16日になった。求人数の減少も心配していたが、それほど影響もなく、ほとんどが第1希望の職種に就けた。  就職後、生徒が長く続けられるように仕事への心構えや基本的な知識をできるだけ身につけさせるためにハローワークと連携した社会人準備講座の充実を図った。  進路ガイダンス（3年生：6月12日・13日、2年生：3月11日） 保護者対象進路説明会（3年生：6月24日～26日、9月3日～7日） 進学面談（3年生：7月31日、8月1日） 就職セミナー（3年生：7月6日・22日、8月17日、9月10日・28日） 就職面接指導（3年生：8月7日・21日～25日） 就職事前指導（3年生：10月15日） 社会人講座（3年生：11月12日・19日・26日、12月17日・18日・25日、2月5日・15日・16日） 進路講座（1年生：10月28日、2年生：7月1日、11月27日）	進学	216名	<内訳> 四年制大学	105名	短期大学	21名	専門学校	90名	就職	48名	家事・アルバイト等	15名	未定	2名	医療検査学科	5名	看護学科	15名	診療放射線学科	1名	こども教育学科	16名	口腔保健学科	9名	合計	46名
進学	216名																												
<内訳> 四年制大学	105名																												
短期大学	21名																												
専門学校	90名																												
就職	48名																												
家事・アルバイト等	15名																												
未定	2名																												
医療検査学科	5名																												
看護学科	15名																												
診療放射線学科	1名																												
こども教育学科	16名																												
口腔保健学科	9名																												
合計	46名																												
<b>②特進コース授業内容の検討と実施</b> ・習熟度別授業、少人数授業、補充授業、土曜講習等 ・学習合宿の継続と内容の充実化		<b>②特進コース授業内容の検討と実施</b> <b>（2「教育課程」進路（進学・就職）に向けた習熟度別授業の実践と検証を参照）</b> 土曜講習は9月より実施している。 毎年、実施している学習合宿は授業日数確保のため、今年度は中止。																											
<b>③キャリア教育の充実</b> ・各種検定試験の実施 ・コミュニケーション能力向上等も含めたトキワアクト（農業体験、福祉教育体験）の推進 ・「介護職員初任者研修」の実施		<b>③キャリア教育</b> 各種検定試験（全商ビジネス文書実務検定・全商ビジネスコミュニケーション検定・秘書検定等）は9月以降実施 トキワアクト（農業体験、福祉教育体験） 各学科コースの特色をアピールするプログラムの継続を参照。 今年は感染症の影響で6月より始まる。4月、5月は職員で畑の整地作業を行った。 7年目に入り、勤労意欲、協調性、コミュニケーション能力等で効果が現れている。 その影響は毎年、個々の進路へも見受けられるようになった。 2年キャリアコースでは「鳴門オレンジを植樹、育てる」新しい取り組みを計画。 8月には津名ふれあいセンターを訪問、研修を行った。（8月26日）  ○「介護職初任者研修」（従来のホームヘルパー2級取得） 今年度は新型コロナウイルス感染症のため講師の確保、大学での実習室確保が困難であるため、希望者はいたが中止とした。																											
<b>④神戸常盤大学との連携による神戸常盤大学進学者への事前学習の充実</b>		<b>④神戸常盤大学との連携による神戸常盤大学進学者への事前学習</b> 神戸常盤大学・同短期大学部受験予定者の学習指導を9月中旬より毎週火・木曜日に実施。また、土曜講習でも実施。																											

4	生徒指導	<b>①基本的生活習慣の徹底</b> 本校の努力目標「欠席・遅刻をしない」「端正な容姿を保つ」「気持ちよく挨拶をしよう」の継続指導	<b>①基本的生活習慣の徹底</b> 本校の努力目標を学年集会等で繰り返し述べ、それが社会人として基本的なマナーであることを説論している。 登下校指導、風紀指導、遅刻欠席指導は毎学期定期的に実施。																					
		<b>②生命の尊重、生きる力の育成</b>	<b>②生命の尊重、生きる力の育成</b> 新型コロナウイルス感染症の調べ学習を通して命の大切さ、医療従事者の献身的な行動に触れる。また、感染予防についても学習したことを家庭や学校生活でも活かしていくことを確認した。																					
		<b>③人権教育の徹底</b> 「いじめ防止対策委員会」基本方針により生徒への見守り強化	<b>③人権教育の徹底</b> 「神戸常盤女子高等学校いじめ防止基本方針」（平成26年度策定）にのっとり推進委員会を開催、仲間意識のさらなる構築と自己肯定ができる環境づくりの形成と職員組織全体で生徒を見守っていくことを確認している。 新型コロナウイルス感染拡大に伴い医療従事者や感染者に対する差別的な発言が、どれほど人を傷つけているか、改めて認識させた。																					
		<b>④諸規定の再確認と検討</b>	<b>④諸規定の再確認と検討</b> 携帯電話の所持については申請許可制で、「学校内では電源を切り一定の袋に入れている状態での持ち込みは許可をする。」に変更した。携帯電話については校内外での正しい使用について教えていかなければならない。登下校の使用是非のこともあり検討中である。 警報時の休校等の扱いについては確認と検討。 警報が発令された場合、ホームページ、保護者メールで早期に知らせることを確認、実施した。																					
		<b>⑤各学年における風紀検査、校内外の巡回指導の実施</b>	<b>⑤各学年における風紀指導、校内外の巡回指導</b> 登下校指導、風紀指導、遅刻欠席指導は毎学期定期的に実施。 保護者にも協力を依頼しなければならない時は保護者召喚も学期末に実施。																					
		<b>⑥薬物乱用防止講習会実施</b>	<b>⑥薬物乱用防止講習会</b> 4月、5月と休校のため今年は講習会も中止。																					
		<b>⑦情報ネット（携帯サイト）犯罪防止教育の実施</b>	<b>⑦情報ネット（携帯サイト）犯罪防止教育の実施</b> 1年生の情報教育の授業でコンピューターやスマートフォンの正しい使い方を指導。 「防犯講座、スマホ・ケイタイ安全教室」（12月2日）																					
5	募集対策	<b>①募集活動の強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子高校としての魅力ある特色の発信</li> <li>・中学校訪問での科・コース等の特色、常盤奨学金制度、神戸常盤大学との連携、進路の状況等の広報</li> <li>・各中学校での進路講話への参加と中学生の本校訪問の拡大</li> <li>・塾への訪問説明の実施</li> </ul>	<b>【令和3年度入学者数】 ※（ ）内は昨年度実績</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>受験者数</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭科</td> <td>153名 (166名)</td> <td>73名 (96名)</td> </tr> <tr> <td>普通総合コース</td> <td>166名 (168名)</td> <td>91名 (87名)</td> </tr> <tr> <td>大学特進こども教育コース</td> <td>68名 (109名)</td> <td>19名 (27名)</td> </tr> <tr> <td>大学特進文系コース</td> <td>19名 (27名)</td> <td>6名 (9名)</td> </tr> <tr> <td>大学特進看護医療コース</td> <td>132名 (179名)</td> <td>53名 (68名)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>538名 (649名)</td> <td>242名 (287名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>①募集活動の強化</p> <p>募集会議（4月1日・7日・17日、5月12日・20日、6月19日、7月1日・14日・18日・24日、8月31日、9月5日、10月1日・14日・21日・29日、11月4日・18日、12月1日・18日、2月3日・26日、3月3日・5日・9日・18日）</p> <p>感染症のため、中学校訪問をどのタイミングで実施するか検討。          例年よりポスター作成を早くして中学校での掲示を依頼する。          オープンスクール（7月・9月）はオンラインによる申込制で実施する。          10月からの見学会は密を避けるため申込制としたが、予定の13回が14回になった。          14回のうち、家庭科、総合コース、文系・こども教育コース、看護医療コースの日を特化して設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子高校としての魅力ある特色の発信          冊子、案内パンフレット等に掲載する生徒は在校生と卒業生として女子校らしい雰囲気を出した。          オープンスクールや広報誌で在校生による女子校の魅力発信した。          卒業後の進路先を広報してキャリアウーマンとしての魅力をアピールした。          学校行事、学年行事等の活動やボランティア活動を広報して充実感をアピールした。          神戸常盤大学への進路を広報して医療、保育といった将来の職業選択をアピールした。</li> <li>・中学校訪問での科・コース等の特色、奨学金制度、神戸常盤大学との連携、進路の状況等の広報。          第1回（6月17日～）          オープンスクールの案内ハガキ配布。進路講話会講師派遣の案内文配布。          第2回（9月10日～）          ポスター、ミニパンフレット等配布。見学会への依頼。          第3回（11月16日～）          入学願書、教育相談の要領にて説明。          第4回（2月15日～）          1次入試のお礼と2次試験の連絡。</li> <li>・各中学校で行われる進路講話への参加。          6月～29校（神戸地区24校 明石地区4校 稲美地区1校）          募集担当が中学校側の要請で進路講話の講師として高等学校の特色等の話をする。          直接、中学生・保護者に本校のことも話せる機会であり効果は大きい。</li> <li>・毎年している神戸市中学校家庭科教員と本校家庭科教員との合同研修会は感染症のため中止。</li> <li>・塾への訪問説明の実施          在校生が通っていた塾を中心に訪問。資料、パンフレット等を配布し入試説明をした。</li> </ul>		受験者数	入学者数	家庭科	153名 (166名)	73名 (96名)	普通総合コース	166名 (168名)	91名 (87名)	大学特進こども教育コース	68名 (109名)	19名 (27名)	大学特進文系コース	19名 (27名)	6名 (9名)	大学特進看護医療コース	132名 (179名)	53名 (68名)	合 計	538名 (649名)	242名 (287名)
	受験者数	入学者数																						
家庭科	153名 (166名)	73名 (96名)																						
普通総合コース	166名 (168名)	91名 (87名)																						
大学特進こども教育コース	68名 (109名)	19名 (27名)																						
大学特進文系コース	19名 (27名)	6名 (9名)																						
大学特進看護医療コース	132名 (179名)	53名 (68名)																						
合 計	538名 (649名)	242名 (287名)																						

5	募集対策	②オープンスクールの内容の検討と私学展への参加	②オープンスクールの内容の検討と私学展への参加 ○オープンスクール ・第1回 7月24日(参加中学生数:150名) 新型コロナウイルス感染症のため、初めての試みであったがオンラインによる申込制のオープンスクールを実施。ホームページにも配信した。事前に資料を郵送。 在校生がたくさん参加して学校案内や部活動紹介をしてくれた。 ・第2回 9月5日(参加中学生数:210名) 1回目と同様オンラインによる申込制オープンスクールを実施。事前に資料を郵送。 本校職員による授業風景や大学職員による医療、保育の特別授業を公開した。 また、在校生がたくさん参加していたので、日頃の本校の雰囲気が出せたように思う。  ○私学展に参加 今年の私学展は新型コロナウイルス感染症の影響で密を避けるため、資料配付のみで実施された。 神戸会場(神戸阪急9階催会場 8月22日・23日) 各学校職員が1名参加、学校案内冊子、パンフレット等を配布。 西宮会場(甲南大学西宮キャンパス 8月30日) 西宮会場は私学総連合会の職員のみで各学校の学校案内冊子、パンフレット等を配布。
		③学校説明会・入試説明会の効果的な内容の検討	③学校説明会、入試説明会 参加中学生622名 保護者557名 10月25日から12月20日までの土・日曜、13回を予定し、14回実施した。感染症の影響のため今年は申込制として1日、中学生45名を目安とした。また、「家庭科体験Day」、「文系・総合コースDay」、「こども教育コースDay」、「看護医療コースDay」を設けて各コースの特色をアピールした。
		④ホームページの継続した更新と内容の検討	④ホームページの更新と内容の検討 今年は新型コロナウイルス感染症で4月、5月が休校になったため、ホームページでの活用が増えた。 6月のオンラインによる授業動画配信もホームページを活用。また、中学生、保護者からホームページを見ての問い合わせも多く、募集関係の柱の一つになりつつある。 7月、9月のオープンスクールや入試説明会の申し込みにも活用した。 日常の本校の様子や授業風景、部活動、課外活動等のアップを多く掲載した。
		⑤募集関係パンフレット、広告等の検討	⑤募集関係パンフレット、広告等の検討 本校の在校生を中心に作成、オープンスクールに合わせて県下の中学校に配布した。 また、中学3年生のクラスに掲示してもらったポスター等も配布。
		⑥広報紙「ときわ」の作成・配布	⑥広報紙「ときわ」の作成・配布 「ときわ19号」を発行、オープンスクールや中学校訪問で配布。(7月20日) 「ときわ20号」を発行、入試説明会や中学校訪問で配布。(11月20日)
		⑦本校の魅力ある教育活動、在校生・卒業生の活動の発信 ・家庭科の調理製菓コース実習授業、被服コースの文化祭での発表の広報 ・進学コース、こども教育コースでの個別ピアノレッスンの広報 ・介護職員初任者研修の広報 ・部活動の広報	⑦本校の魅力ある教育活動、在校生・卒業生の活動の発信 本校の学校説明冊子やオープンスクール・入試説明会の案内パンフレット・ポスター等により発信した。また、広報紙「ときわ19号」には休校中の授業動画配信の様子やトキワクト、ボランティア活動、神戸常盤大学との連携、進学先、卒業生の近況等を掲載し発信。 こども教育コースの個別ピアノレッスンについては6月から再開。その様子はオープンスクールにも動画配信した。 介護職員初任者研修は講師、実習室の確保が難しく、今年度はやむなく中止とした。
		⑧募集活動に関するデータ、資料の作成、検証	⑧募集活動に関するデータ、資料の作成、検証 入学してきた生徒からのアンケート、オープンスクール・入試説明会の参加者アンケートを調査。また、在校生の出身中学校のデータ等を作成し検証した。
6	高大連携(学園内交流)強化	①学園一体化推進委員会の具体案の検討と実施	①学園一体化推進委員会 前年度の学園全体の一体化推進委員会の検討を受けて、今年度は神戸常盤大学、瀬川先生の講義を2年生こども教育コースだけでなく1年生こども教育コースの生徒にも実施していただいた。 (9月11日・18日)
		②オープンスクール、学校見学会における大学との連携	②オープンスクール、学校見学会における大学との連携 第2回オープンスクールでは神戸常盤大学の3名の職員による講座をオンラインで発信。 (9月5日)  「看護・命と健康を考える」 十九百先生(看護学科) 「こども教育・折り紙アート」 松尾先生(こども教育学科) 「口腔保健・歯の健康を考える」 福田先生(口腔保健学科) また、10月からの見学会には中学生への神戸常盤大学施設見学、説明会もお願いした。 本校生の神戸常盤大学見学会や授業体験の様子は広報紙にも掲載。
		③卒業生(神戸常盤大学・同短期大学部進学生)を活用した取り組みの拡大 オープンスクール、学習合宿、広報紙作成等	③卒業生(神戸常盤大学・同短期大学部進学生)を活用した取り組みの活動拡大 広報紙「ときわ20号」でも卒業生がメッセージを寄稿、関心を高めた。(11月20日) 今年度はオープンスクール、学習合宿への卒業生の参加は見送った。
		④文化祭での健康チェック実施	④文化祭での健康チェック実施 文化祭1日目の行事が実施しないため今年度は中止となった。
		⑤TOKIWA 健康ふれあいフェスタでの協力と参加	⑤「KOBE TOKIWA 健康ふれあいフェスタ」 中止のため本校生も参加できなかった。
		⑥高大連携によるボランティア活動の実施	⑥高大連携によるボランティア活動 大学の健康ふれあいフェスタ、ボランティアセンターの活動、小豆島地域交流事業等が中止のため、参加できなかった。

6	高大連携（学園内交流）強化	⑦神戸常盤大学・同短期大学部との進学前学習の充実	⑦神戸常盤大学・同短期大学部との進学前学習 高大連携協議会（7月10日、8月25日） 本年度、神戸常盤大学・同短期大学部への指定校推薦予定数は以下の通りである。 看護学科15名 医療検査学科5名 診療放射線学科1名 こども教育学科16名 口腔保健学科9名 計46名 神戸常盤大学・同短期大学部受験者の受験対策である土曜講習を実施。（9月～） 進学前学習及びオリエンテーション（12月17日、2月15日）
		⑧法人本部 IR 推進室との連携による「高校 IR」構築への検討	⑧「高校 IR」構築への検討と実施 ・高校 IR の構築を検討。
		⑨従来の具体的な連携事業の継続 全学年歯科検診、3年大学見学会、2年N看護学科体験授業、1年N看護学科体験授業、オープンスクール大学見学会、 2年NUE口腔保健学科見学会、2年Eこども教育学科体験授業、 2年E「音楽」保育進学基礎授業、文化祭健康講座、進学前学習セミナー、ボランティアセンター活動参加等	⑨従来の具体的な連携事業 新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度は日程が大幅に変更された。 ・歯科検診 3年生（8月28日）、2年生（8月27日）、1年生（8月27日） ・神戸常盤大学見学会：2・3年生神戸常盤大学進学希望者（7月1日） ・看護学科体験授業：2年生看護医療コース（7月8日） ・口腔保健学科体験授業：2年生進学コース（9月3日） ・看護学科体験授業：1年生看護コース（9月15日） ・こども教育学科「音楽」の体験授業：2年生こども教育コース（9月11日） ・こども教育学科「音楽」の体験授業：1年生こども教育コース（9月18日） ・神戸常盤大口腔保健地域口腔支援実習：1年生（11月19日） ・ときわ病院看護部長講演：2年生看護コース（12月21日） ・こども教育学科体験授業：1年生こども教育コース（2月3日） ・こども教育学科体験授業：2年生こども教育コース（3月2日） ・第2回オープンスクール（オンライン）で大学職員による講座を実施してもらった。 （9月5日）  オープンスクールを参照 ・「小豆島の大学連携地域交流合宿事業」中止 ・高大連携協議会（7月10日、8月25日） ・国際交流センター会議（4月16日、5月25日、6月15日）：その他ラインによる会議等
7	教員研修	①教職員研修の推進	①教職員研修 感染症予防のため、各種の研修が中止となった。 本校家庭科職員と神戸市中学校家庭科職員との合同研修会、意見交換会も中止。 授業時における ICT 活用の検討を教科ごとで実施。
		②教科内研修の実施	②教科内研修 4月、5月の休校期間中や8月に入り各教科による教科会を実施。 ICT機器の活用について、教科ごとに研修を重ねていくことを確認した。
		③生徒指導研修の実施	③生徒指導研修 いじめ防止対策、体罰防止対策等を念頭に置き、生徒指導の共通理解と研修を実施。 生徒の健康面における共通理解のための研修も実施。 学年ごとに実施している生活に関する指導の共通理解と課題を運営委員会及び生徒指導委員会等で検討し職員会議にて意見交換を実施。 運営委員会（月曜日） 職員会（水曜日）
8	その他	①基本構想委員会での審議決定事項の推進 検討委員会で審議された項目を確認していきながら推進	①基本構想委員会での審議決定事項の推進 検討委員会（4年間で34回：平成21年9月～24年12月）で審議、決定された項目において毎年確認をして推進している。 ・建学の精神を堅持し、女子高としての特色をアピールしていく。 ・三つの努力目標をしっかりと身につけさせる。そのための取り組みを進める。 ・普通科（総合コース・特進コース）、家庭科（調理製菓コース・服飾コース）の特色づくり。 ・トキワアクト（農業体験・ボランティア活動）のさらなる充実。 ・幅広い高大連携の推進（推薦入試・各教育活動・職員交流等）。 ・広報活動の充実。特色ある教育活動や在校生、卒業生の活躍を積極的に広報していく。  ○来年1月に実施予定の現2年生のシンガポール修学旅行は、新型コロナウイルス感染症のため中止。基本構想委員会では次の候補地を北海道としている。2年生の3学期に実施していた修学旅行は3年の6月、北海道に行くことを決定した。
		②学校評価 生徒対象学校評価アンケート、保護者対象学校評価アンケート、教職員対象学校評価アンケート等の実施と検証	②学校評価 生徒対象学校評価アンケート（年度末に実施） 保護者対象学校評価アンケート（年度末に実施） 教職員対象学校評価アンケート（年度末に実施）
		③防災教育、避難訓練の実施、防災意識の向上 「命の大切さ」を中心に添えた教育と活動の継続	③防災教育、避難訓練の実施、防災意識の向上 「命の大切さ」を中心に添えた教育と活動 1学期に予定していた防災避難訓練は11月に実施。（11月4日） 避難経路の確認と防災意識の向上、そして感染症予防の徹底を呼びかけた。
		④個人情報の管理と教務システムの効率的運用	④個人情報の管理と教務システムの効率的運用 教務システムの効率的な運用と同時に情報セキュリティの対策を検討。 高校 IR の構築に向け、大学 IR 推進室との連携を確認。
		⑤美化清掃体制の強化、備品管理の徹底	⑤美化清掃体制の強化、備品管理の徹底 密を避けるため、全校生による一斉清掃は班別清掃に切り替えた。 伝統ある校舎への愛着心を高める意識付けは機会あるごとに実施した。

幼稚園																																							
1	教育充実	<b>①新教育課程に則った保育充実</b> 教育課程に沿った保育計画と実践 「体験を通した学び・育ち」を見据えた保育の充実	<b>①新教育課程に沿った年間カリキュラム、週日案の作成・見直し</b> ・休園期間の影響による育ちの遅れが生じないよう保育計画を細やかに見直し、通常の保育、園庭での遊びや学内散策などの充実を図り保育実践を行うように努めた。 ・感染対策のため1学期中の行事や園外保育等も実施できなかったが、実施方法を再検討し、できる限り2,3学期で実施。																																				
		<b>②教員研修の充実</b> ・園内研究会・研究保育の実施 ・園外で実施されている研修への参加	・園内研究会を12月8日(火)、9日(水)に実施。 ・園外研修会はすべてオンラインではあったが適宜参加。																																				
		<b>③大学との連携(下記「6 大学との連携」に記載)</b>	下記「6 大学との連携」を参照。																																				
2	子育て支援事業の推進	<b>①ちゅうりっぷ組(2歳児クラス)</b> 週3日(月・水・金)開催 2歳児のみ登園 5月より 2学期より在園児と同じ14時まで保育を行い、給食を導入(2学期は希望制、3学期は全児) 満3歳児入園希望への対応	<b>①ちゅうりっぷ組(2歳児クラス)</b> 週3回(月・水・金)実施。 年間72回実施。 新型コロナ感染拡大防止による休園の為、6月末開始ではあったが、例年通り午後保育開始時期は9月からとし、 2学期から保育時間延長(13時まで→14時まで)、週1回の給食実施。																																				
		<b>②こりすクラブ(0～3歳児)</b> 年間 毎週木曜日開催 親子登園	<b>②こりすクラブ(0～3歳児)</b> 年間 11回(休園期間中及び緊急事態宣言中は実施無) 利用者数 148名(延べ数) 平均参加人数 6組 夏期休暇中は神戸市私立幼稚園連盟開催の「夏休みだ幼稚園に行こう」事業に参加し計3回の園庭開放実施。 参加親子:延 37組																																				
		<b>③育児相談事業</b> 4月～翌年3月(72日) 保護者の要請に対応	<b>③育児相談事業</b> ②④にて 年間72日 実施。																																				
		<b>④兵庫県補助対象事業</b> ・わくわく陽だまり事業 ・乳幼児子育て応援事業 ・親子学級 ・みんなの幼稚園事業	<b>④兵庫県補助対象事業</b> ・ <b>子育てセミナー</b> 9月7日 藍染をしよう 9月11日 マリーゴールドを使って染物をしよう 11月26日 親子体操 12月1日 感染症について ・ <b>その他兵庫県補助対象事業</b> 上記①～③にて実施																																				
		<b>⑤預かり保育事業</b> 年間220日(夏季休業中を含む) 保育終了後17:30まで	<b>⑤預かり保育事業</b> ・預かり保育専従の常勤教諭配置:1名 <平日> 保育時間終了後～16:30まで 年間136日実施 平均利用幼児数 5名 <長期休業日> 実施日数32日 平均利用幼児数 6名																																				
<b>⑥子育て支援カウンセラー事業の充実</b> 兵庫県補助事業 看護学科教員の協力を得てカウンセラー事業を平成31年度より開始。保護者相談や教員への指導助言を実施	<b>⑥子育て支援カウンセラー事業の開始</b> ・7月以降、毎月第2金曜日に設定。 ・カウンセラー:看護学科 岩越美恵教授																																						
3	園児募集対策	<b>①未就園児保育の充実</b> 幼児教育無償化により、従来よりも低年齢での満3歳児保育の希望が増加傾向にある。こりすクラブ、ちゅうりっぷ組の保育充実を図り入園につなげていきたい。 <b>②子育て支援センターとの連携</b> <b>③通園バスの広域運行</b> ときわんモトロクを利用している子どもの入園、未就園児クラスの入会にあわせて、神戸駅(ハーバーランド)方面への運行を開始 <b>④特色ある教育の推進</b>	・幼児教育無償化以降、2歳児クラスや満3歳児入園への問い合わせが増え、2歳児クラスは年間を通して定員充足の状態であった。またコロナ禍ということもあり公園等で遊ぶことを控え、園庭開放に参加する親子も微増し、未就園児親子が参加するこりすクラブの内容充実を図った。緊急事態宣言中はこりすクラブ実施はできなかったため、ホームページで職員が園の様子を発信するブログを細やかに更新するよう努め、本園のことを広く周知してもらえるように努めた。 <b>【入園児数】</b> <b>令和2年度</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入園児数</th> <th>在園児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満3歳児</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>11名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>0名</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>1名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13名</td> <td>40名</td> </tr> </tbody> </table> 入園見学会 令和2年9月9日、17日 <b>令和3年度</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入園児数</th> <th>在園児数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>満3歳児</td> <td>0名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>8名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>0名</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>0名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8名</td> <td>37名</td> </tr> </tbody> </table>		入園児数	在園児数	満3歳児	1名	1名	3歳児	11名	15名	4歳児	0名	13名	5歳児	1名	11名	合計	13名	40名		入園児数	在園児数	満3歳児	0名	0名	3歳児	8名	9名	4歳児	0名	16名	5歳児	0名	12名	合計	8名	37名
	入園児数	在園児数																																					
満3歳児	1名	1名																																					
3歳児	11名	15名																																					
4歳児	0名	13名																																					
5歳児	1名	11名																																					
合計	13名	40名																																					
	入園児数	在園児数																																					
満3歳児	0名	0名																																					
3歳児	8名	9名																																					
4歳児	0名	16名																																					
5歳児	0名	12名																																					
合計	8名	37名																																					

3	園児募集対策		<p><b>①未就園児保育の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児クラス（ちゅうりっぷ組） 詳細は後述の「2 子育て支援事業の推進」に記載。</li> <li>・こりすクラブ（0～3歳児） 詳細は後述の「2 子育て支援事業の推進」に記載。</li> </ul> <p><b>②子育て総合支援施設 KIT との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年、ときわんクニヅカ、ときわんモトロクに於いて、夏期休暇中に「幼稚園の先生と遊ぼう」を開催。今年度は感染拡大防止により実施ができなかったが職員間で情報交換をしながら見学者等の対応に当たった。</li> </ul> <p><b>③通園バスの広域運行</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園専用バス（通勤用）と大学のバス、計2台の通園バスにて運行。ときわんモトロクの利用者のニーズに対応し、神戸駅方面に送迎範囲を拡大。</li> </ul> <p><b>④特色ある教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育目標に基づき、「自然との関わり」など例年どおり実施。学内ビオトープや裏山、園外の自然に触れる機会をもった。</li> <li>・大学の附属幼稚園として、教育学部を中心に各学科の教員とかかわる機会をもった。大学教員の指導を受けるキッズクラブを9月より再開し音楽、自然、運動などの内容を実施。</li> <li>・神戸常盤女子高等学校キャリアコースで開講しているトキワアクトには、感染拡大防止のため生徒と一緒にすることは控え園児のみで参加。高校教員の方々の協力を得てサツマイモの収穫を体験。 いもほり 11月5日</li> </ul> <p><b>⑤その他募集対策等</b></p> <p>入園募集パンフレット、ポスターの作成（ポスター掲示箇所：10ヶ所）</p>
4	神戸常盤女子高等学校生徒の高校生保育体験授業の受け入れ等	私立幼稚園高校生保育体験事業受け入れ（補助金対象事業）	未実施。
5	危機管理対策	<p><b>①園児指導 職員研修（防災・防犯・交通安全）</b></p> <p><b>②避難訓練 年3回実施予定</b></p> <p><b>③施設設備の点検と避難経路確保</b></p>	<p><b>①園児指導 職員研修（防災・防犯）</b> 3月8日 交通安全教室実施</p> <p><b>②避難訓練</b> 11月25日、1月15日 避難訓練実施（防災・防犯訓練園児指導、職員研修）</p> <p><b>③施設設備の点検と避難経路確保</b> 隔月実施</p>
6	大学との連携	<p><b>①実習生受け入れ</b></p> <p><b>②こども教育学科 ボランティア学生受け入れ</b> 2年生の空きコマを利用し希望者のみ実施</p> <p><b>③キッズクラブ及び子育てセミナー講師</b> こども教育学科の教員を中心に、大学教員の協力を得て実施</p> <p><b>④研修講師</b></p>	<p><b>左記①～③</b></p> <p><b>●こども教育学科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月14日～30日、10月5・10日 4年生実習受け入れ</li> <li>・9月17日・18日 1年生観察実習受け入れ(11名)</li> <li>・9月7日・9日・11日、10月7日・14日・16日・28日、11月6日・10日・25日、12月4日3月11日 ときわキッズクラブ講師</li> <li>・12月8日・9日 職員研究保育講師</li> <li>・4月24日・30日、12月3日・24日ひかりのくに出版「保育とカリキュラム」指導案講師</li> </ul> <p><b>②ボランティア実習受け入れ</b> なし</p> <p><b>●看護学科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月1日 子育てセミナー「感染症について」講師</li> </ul> <p><b>●口腔保健学科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月11日 歯科検診及び「お口ばかん検査」</li> <li>・10月5日～12月16日 観察実習（54名）</li> <li>・10月16日 歯みがき指導実習受け入れ</li> <li>・3月10日 フッ化物染口法指導</li> </ul> <p><b>●診療放射線学科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月29日 1年生観察実習受け入れ（2名）</li> </ul>
7	ときわ幼稚園創立50周年記念事業の実施	<p><b>①記念行事の実施</b></p> <p><b>②記念品製作</b></p>	<p><b>①記念行事の実施</b></p> <p>来賓を招いての式典は感染拡大防止の観点から中止とした。 在園児及び保護者を対象として、記念音楽会・製作展を実施。記念音楽会では園児・職員作詞、卒園生作曲の周年歌を披露したり、50年の歩みや子どもたちの生活をまとめた写真展を開催した。</p> <p><b>②記念品製作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●記念パンフレット ・旧園長、旧職員、役員・評議員、在園児、学園教職員、小学6年生までの卒園生</li> <li>●クリアファイル ・旧園長、旧職員、役員・評議員、在園児、こども教育学科教員</li> <li>●コースター 教育学部大森学部長 多田教授と園児で作成</li> <li>●50年の歩み（DVD） ・旧園長、旧職員</li> <li>●ミニタオル ・在園児・小学1年生（パンフレット制作に関わったため）</li> </ul>
8	その他	<p><b>①神戸常盤女子高等学校「キャリアコース」にて開講している「トキワアクト」に参加（一部）</b></p> <p><b>②月刊保育誌「保育とカリキュラム」4歳児保育カリキュラム編集委員</b> 職員2名が代表して編集に参加（1年間）</p>	<p><b>①神戸常盤女子高等学校「キャリアコース」にて開講している「トキワアクト」に参加（一部）</b> 詳細は項目「1-③」のとおり。</p> <p><b>②幼稚園無償化について</b> 令和元年10月より開始。保育料・給食副食費・預かり保育等を実施し、現在に至る。</p>